

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 砂丘地帯、水田地帯と地形を生かした野菜及び水稲が主体の平地農業地域
- 担い手の一層の経営発展と、規模拡大や効率的な生産と技術取得に向けた体制強化が必要な地区

【支援内容・背景】

- 高齢化により、農地の出し手が増えており、受け手となる担い手の経営規模拡大に対し、生産規模に見合った機械・施設整備を支援。
- 助成対象者は水稲、大豆及び作業受託を中心に地区の中心経営体として大規模経営を行っている。地区内及び周辺地区での経営面積の拡大や品質改善に向けた機械導入を支援することにより、安定した生産量の確保や効率化を図る。



助成対象者「株式会社H」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成14年 経営移譲
- 平成26年 法人化(株式会社)
- 平成26年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○作業受託も含めた経営面積の拡大へ対応するためには規模に見合った機械導入が必要。また、生産量増加、品質の底上げに向けて高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R2年度〉

○売上高 82百万円

○経営面積 78.9ha

水稲	69.8ha
大豆	8.1ha
その他	1ha

《事業による整備内容》

- コンバイン 1台
事業費 8,305千円
(国費 3,775千円)
- 米色彩選別機 1台
事業費 3,247千円
(国費 1,476千円)

【現在の経営状況】
〈R4年度〉

○売上高 89百万円 (108%)

○経営面積 83.8ha (106%)

水稲	76.7ha
大豆	7.1ha

事業の
効果

《対象者》コンバイン導入により作業の効率化が図られ、面積拡大により生産量の増加につながった。
また、米色彩選別機により生産量増加に対応でき、お米の品質を高めることができた。

《地区》地域における中心経営体の経営強化が図られたことで、地域の農地集積や地域農業の活性化につながった。